

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

11月よりインフルエンザワクチン接種を始めます。

【接種期間】 2014年11月4日～2015年1月30日

- ・小児科・産婦人科は各科での接種、その他の方はワクチン外来(初診・紹介内科5診)での接種となります。
- ・小児科のみ他のワクチンと同様に予約制となります。ご希望の2日前までにご予約ください。
- ・65歳以上・公費補助対象の方は市町村からの通知書(予診票)の記入を済ませ、当日ご持参ください。

内科 (ワクチン外来)	対象:15歳(高校生)以上 受付時間:月～金(祝祭日を除く) 午前8:30～11:00 午後1:00～4:00
小児科 ※予約制	対象:生後6ヶ月～中学生 受付時間:火曜日・金曜日 午後1:30～3:30 ※13歳未満は2回の接種が必要です。
産婦人科	定期妊婦健診時に受けられます。

接種料金(税込)

- 1.組合員様 2,600円 2.一般外来患者様 3,240円
- 3.入院中の患者様 2,160円

※小児、成人ともに同額です。

※公費補助対象の方は通知書内の料金をご確認ください。

※待ち時間の少ないとよみ生協病院でも接種可能です。

月～金:午後2:00～4:00(事前予約が必要です)

対 象:15歳以上の方

予約・お問合わせ 850-7955(とよみ生協病院 医事課)

10.1 スタート集会

10月1日から11月30日までの2ヶ月間、医療生協強化月間となっています。そこで医療生協強化月間に向けての集会が玄関前にて行われました。

集会では加入・増資の声掛け増やしなど、各部署の代表者が具体的な取り組み方法を明確に挙げており、強化月間に向けての意識が高いことに、私自身も志気が高まりました。

目標件数を達成するにあたり、組合員の皆様へ安心の医療が提供できるよう職員一同取り組んでいきたいと思っております。医療生協にまだ加入されていない方、すでに組合員の方は増資を是非この機会によりよくお願い致します。

リハビリ室 神谷知代梨



「紙おむつ院内管理」を始めました

みなさんこんにちは。今日は沖縄協同病院で10月より導入を始めた「紙おむつ院内管理」について紹介したいと思います。

「紙おむつ院内管理」とは、病院が紙おむつを一括購入し患者様に使用してもらう管理方法で県内でも多くの医療機関が導入しています。

「紙おむつ院内管理」のメリットとして①ご家族の皆様にご持参していただく労力の負担軽減②患者様の病状・動作能力にあわせて紙おむつを使用する事ができる③病院で一括購入するため費用を低く抑えることが出来る④使用する紙おむつを統一することにより患者様の排泄ケアの質的向上を図ることが出来るなどが挙げられます。

約1年前より導入に向けた取り組みを開始し、各社の紙おむつの使用テストを行い、看護師・看護助手へのおむつ交換の学習会を繰り返し行ってきました。

今後も排泄ケアに関わる研修を行い、排泄ケアの質的向上をはかり患者様が快適に入院できるよう努めていきたいと思っています。

「紙おむつ院内管理」についてご質問がございましたら、職員まで声をおかけください。

リハビリ室 屋良樹一

病院の活動状況 <9月度>

- ・外来一日平均患者数:600人(前年同月比+15人)
- ・入院一日平均患者数:256人(前年同月比 -1人)
- ・組合員利用率:56.9%(前年比 +0.7%)

リカバリー・パレード「回復の祭典」 in Okinawa

心療内科



「アルコール・薬物をはじめとする依存症は、きちんと治療すれば回復が可能であり、新しい生き方を手にすることが出来る」という事実は、社会の中ではほとんど知られておらず、依存症本人や家族の人たちにも伝わっていない状況にあります。そして、依存症は家族や社会を巻き込む破壊力が大きい病気であるため、病気に対する偏見が助長されています。

リカバリー・パレード「回復の祭典」は、依存症からの回復に向かって歩んでいる本人と、家族・友人・支援者などが、回復の喜びを祝うパレードを行い、一般の人たちに、依存症は回復すること自分を自分たちの顔・声でアピールするイベントで、アメリカ合衆国で始まり、日本でも全国各地で開催されています。(当日は「メディア」による取材OK、「取材NG」の隊列を峻別します)

また、ハルくんプロジェクトとは、アルコール依存症者の家庭で育つ男の子、ハルくんの視点で描かれた絵本を全国各地のことで朗読すること、依存症についての理解を拡げる取り組み(「はいさい」第157号で紹介)です。

今回、この沖縄でも一般の皆さんに、依存症は回復することをアピールし、皆さんと一緒に回復の喜びを分かち合いたい、またアルコール・薬物依存症への理解を拡げていきたいとの願いから、小松が実行委員長(実行委員会は沖縄ANDOGネット・琉球GAI・沖縄県断酒連合会)で形成になって、2つをドッキングさせた左記のような行事を企画しました。

第1部リカバリー・パレード「回復の祭典」 in Okinawa

11月9日午後1時スタート 那覇市国際通り(旧三越前と安里交差点の間)

途中でカメおぼあ(おぼあラップズ)による朗読あり

雨天決行
第2部ハルくんプロジェクト in Okinawa

11月9日午後2時半～午後3時 那覇市牧志駅前ほしぞら公民館PC室

どなたでも参加できますので、お誘いあわせの上、是非ご参加ください。また身近な人や周りの方にもお知らせ頂けると幸いです。よろしくお願いたします。

心療内科 小松知己

医療安全学習会へ参加して

10月3日～4日にかけて開催された「暴言・暴力への対応～管理者としてどのように向き合いますか～」の安全・安心研究集会に参加しました。

2日目の日程のみの参加でしたが、暴言・暴力発生時の対応や被害を受けたスタッフを守るポイントなど実践を交えながらの講演でも勉強になりました。

特に印象的だったのが、各院所に分かれてグループワークを行ったKTY(暴力の危険予知訓練)の実践です。どんな危険があるのか危険要因を想定し、危険ポイントを絞り、具体策を自ら構築し、チームでの行動目標を設定する体験でした。患者さんと身近である医事課としても日頃から暴言・暴力発生時の役割分担を設け、他部署と連携することの大切さを学びました。

医事課 平川俊太



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

投書

中学生以下は赤ちゃんの面会に入れないうか、まじむ力つくし!!しかもあとで見せるとかいいながら、お母さんに言われてしか見せていないし。めっちゃイライラした。姉にも会えないうえ、赤ちゃんもちょっとしか見れないし、もうイヤ!!

12歳

回答

面会に来てもらったのに、赤ちゃんにもお姉さんにも十分会えず残念な思いをさせてしまってごめんさい。

生まれたばかりの赤ちゃんは、病気を自分で防ぐ事が出来ず、体の中にばい菌をやっつける「免疫」というものもありません。赤ちゃんがばい菌に感染してしまうと重症になりやすい事もあり、学校でたくさんの友達と一緒に勉強をしたり、遊んだりしている中学生以下のお子さんとの面会については制限しています。また、病院にはいろいろな病気の方も入院されている事から、ばい菌をやっつける力の弱い中学生以下のおさんは、病院への出入りを控えてほしいと考えています。

赤ちゃんが退院しても、手洗い・うがいをしてから触るようお願いします。たくさん可愛がって、守ってあげてください。

4階病棟師長 玉城和美

全国ろうあ者体育大会へ参加して



沖縄協同病院総務課の高良昌莉と申します。生まれた時から耳が聞こえません。

9月26～28日全国ろうあ者体育大会が沖縄にて開催されました。全国各地から1200人が参加し10競技が行われました。

僕は主将として50年ぶりに沖縄のろう者野球を復活させ参加し、また、デフリンピックで活躍した日本代表選手で姉の高良美樹はバレーボールに出場しました。姉弟で選手宣誓に選ばれ、沖縄代表として宣誓をさせて頂きました。野球ではベスト4ならず負けましたが、最後までみんなで諦めず戦えたのでよかったと思います。姉はバレーで銅メダルを獲得し、活躍していました。

ろう者野球チームはこれからもメダルを獲得できるよう励みますので、ぜひ応援宜しくお願い致します。

総務課 高良昌莉

入院患者様 ご面会時間のお知らせ

入院患者様の療養安静、防犯対策強化のため面会時間を設けています。下記の時間帯での面会をお願いします。

- 4階～8階(一般病棟)..... 午後3時～午後8時
- ICU(集中治療室)..... 午前11時～午前11時30分
午後7時～午後7時30分
- SCU(脳卒中ケアユニット).... 午後12時～午後1時30分
午後6時～午後8時



季節の挿絵

秋の陽だまり 画・内科医 上原和博

おきなわの自然 54

バオバブ

足腰が丈夫なうちに現地に行って見たい木がある。イエメンの「竜血樹」と言われる赤い血を流す木とマダガスカル奇妙な形をしたバオバブの木である。なので、2カ月前にマダガスカル旅行から戻った妹がソフトボール大の実を持ち帰ってきた時は、待ち焦がれた人に会ったような気分だった。

さっそくネットから情報を得て、種を植えることにした。バオバブの実の中には1cm程の種が100個近く入っていて、種をしゃぶると甘酸っぱく、現地では子供たちのおやつになっているという。殻が堅いので、熱湯に浸けてから植えると10日ほどで芽が出てきた。発芽率は80%程度。苗からは親の姿は想像できない。

バオバブはアフリカ、マダガスカル等が原産で最も幹が太くなる樹と言われる。沖縄の街路樹であるトックリキフタによく似ている。熱帯ドリームセンターには成木があり、1998年に開花し、2000年には結実したという。新聞記事で花の写真を見たが樹の形は普通の樹である。やはりバオバブはマダガスカルの夕日を背景に眺めたい。

私がバオバブに興味を持ったのは、あの奇妙な樹形の言い伝えである。「地球上で最初の木であったバオバブは、その後細くて上品なやしの木が登場した時、もっと背が高くなりたいと願って高くなる。さらに果実を柔らかくしたいと願って高くなる。バオバブも果実を柔らかくしたいと願って高くなる。そんなわがままなバオバブを見て神様が怒り、根を引っっこ抜いてさかさまに地面に突き刺した」というものである。まさに、アップダウンツリー(上下逆さまの木)と言われる所以である。

11月16日に行われる沖縄県知事選挙も辺野古新基地建設承認をひっくり返す新知事を誕生させたいものである。

とよみ生協病院 事務課長 金城稲子

